

通番	該当頁	該当項目	意見内容	JICA沖縄 回答
1	P17から P20	7. (1), ①~7. (3), (ア)	出前講座、訪問学習50件程度等となっており、実施プログラムの合計が約62件でよいのか。	【全体件数について】 出前講座、訪問学習、就業体験（インターン）、ふれあい講座等の市民向け講座に加えて、コロナ禍におけるオンライン講座も企画提案願います。また、隊員0V向けのオンライン出前講座スキルアップ研修などの企画提案も歓迎します。上記及びフェスティバルでの対応を含め、合計90件~100件程度の実施件数を想定しています。 ※出前講座・訪問学習の最少実施件数を50件としています。
2	P17	7. (1), ①	出前講座は、Zoom等のオンラインでの出前講座を含む件数なのか。	上記のとおり、オンライン講座は出前講座・訪問学習の50件とは別途でご提案ください。
3	P17から P20	7. (1), ①~7. (3), (ア)	2021年度からは、人件費の換算方法は、出前講座等の実施件数または、実施時間のどちらになるのか。	実施時間での人件費積算を予定しています。
4	P26	1. (1), 2. ①	外部講師（協力隊0V単価）は、4,600円（1回）なのか、4,600円（1時間）のどちらになるのか。 公示内は1回と記載され、JICAの謝金規定では、時間単位での支払いとなっている。	4,600円（1時間）を上限とします。本公示の際に、記載を変更します。
5	P17	7. (1), ①	「県教員のJICA海外協力隊への現職参加時の母校および帰国後の配属校への実施実現方法について」とは、現職参加教員と配属校で、オンラインによる出前講座等の実施という理解でよいのか。	派遣中（オンライン）、帰国後（対面）での出前講座を想定しています。
6	P18	7. (1)	在留外国人材とはどのような国・立場にいる人を想定しているのか。開発途上国の出身者に限るのか。	JICA長期研修員とご家族、県内在住の留学生、技能実習生、特定技能等で来日された方々を想定しています。JICA事業を実施している国を優先していただきたいと思えます。
7	P20	7. (2)	ふれあい講座はJICA研修員との交流が主眼となっているセミナーと書いてあるが、来日研修がない場合はどのような実施方法、プログラムを想定しているのか。質問6で記載されている在留外国人との交流の実施でよいのか。	上記の外国出身者およびJICA長期研修員を想定しています。 実施方法について、感染症の状況に応じてオンライン等で実施できるプログラムもご提案ください。
8	P17	7. (1)	県内の子供を取り巻く各種課題として、子どもの貧困を挙げているが、対象はどのような団体を想定しているのか。	子どもの貧困に限らず、子どもの居場所づくりに取り組んでいる学童や公民館、子ども食堂等各種団体などを想定しています。県教育庁、各市町村、大学コンソーシアム沖縄との情報共有、連携にも期待しています。
9	P4	7. 6)		7. 競争参加資格の確認 6). 確認結果の通知日時を修正します。 正：3月11日 誤：3月4日
10				